

2021 年全日本選抜柔道体重別選手権大会

日時：令和3年4月3日（土）～4月4日（日）

会場：福岡県福岡市 福岡国際センター



女子 70kg 級

初優勝

にいぞえ さき
3等陸尉 新添左季

写真提供：全日本柔道連盟

令和3年4月3日（土）～4日（日）全日本選抜柔道体重別選手権大会が福岡県福岡市福岡国際センターで行われた。全日本選抜柔道体重別選手権大会は男女各7階級を行い、全日本柔道連盟より選出された各階級8名で日本一を決める大会である。また、2021年柔道世界選手権（ハンガリー・ブダペスト）日本代表選手選考会を兼ねて行われた。本大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客試合となり、大会関係者においても2週間前からの検温記録、事前のPCR検査を実施するなど、感染症対策を十分に行い開催された。

自衛隊体育学校第2教育課柔道班からは5名が出場し、女子70kg級で新添左季3等陸尉が本大会初優勝を飾った。女子63kg級で幸田奈々2等陸曹、男子60kg級で小西誠志郎2等陸曹、男子81kg級で佐藤正大2等陸曹がそれぞれ3位入賞する活躍を見せた。

柔道世界選手権

2021

団体戦代表へ

大会1日目、女子70kg級に出場した新添3尉は1回戦、青柳麗美選手（JR九州）に試合時間残り35秒で得意の内股を決めて勝利した。続く準決勝、朝飛真美選手（桐蔭横浜大学）に開始30秒で新添3尉が大外刈（技あり）をとり勝利、その勢いのまま決勝に駒を進めた。迎えた決勝は2020年講道館杯での優勝者である、寺田宇多菜選手（JR東日本）との対戦となった。

試合中盤、寺田選手の消極的な組手に対し指導1が入った。どちらも引かない攻防が続き試合時間残り22秒、新添3尉の払腰が技ありとなり優勢勝ちで新添3尉は本大会初優勝を飾った。

試合後新添3尉は、「ずっと取りたかったタイトルだったので優勝できて嬉しい。世界選手権団体戦代表に選んでもらえたので、そこでもしっかりと結果を残したい」と抱負を語った。

これにより新添3尉は、2021年6月6日～同年6月13日の間、ハンガリー・ブダペストで開催される柔道世界選手権団体戦の日本代表選手として選出された。



写真提供：全日本柔道連盟

念願のタイトルを
掴んだ新添3尉

健闘 3選手が第3位

佐藤2曹・幸田2曹・小西2曹



81kg 級

佐藤正大 2等陸曹

初戦、小原拳哉選手（パーク24）に大内刈で相手を崩し、技ありで勝利。準決勝で本大会優勝の佐々木健志選手（ALSOK）に内股で一本取られ3位となった。



63kg 級

幸田奈々 2等陸曹

初戦、山本杏選手（パーク24）に一本（送足払）で勝利し、準決勝へ進出。準決勝で本大会優勝の鍋倉那美選手（大石道場）に技あり（隅落）を取られる結果となった。



60kg 級

小西誠志郎 2等陸曹

今年度新規採用

初戦、納庄兵芽選手（日本エースサポート）に横四方固で技ありとして勝利。続く準決勝は今大会2位の堅山将選手（パーク24）とは、延長戦となり延長1分2秒堅山選手の巴投げにより惜敗した。



試合時間・・・規定試合時間は4分間。時間内に勝負が決しない場合、時間無制限の延長戦となる。

合わせ技一本・・・「技あり」2つで「合わせ技一本」となる。

スコアによる試合の決着・・・規定時間においては、「技あり」、「一本」もしくは「反則負け」でのみ決着がつく。

「指導」（1回目、2回目）の違いだけでは勝敗は決定しない。

